

1970



1970年(昭和45年)、旧市民体育館で開催された国民体育大会柔道競技。まちは熱狂のうずぎに包まれました

2009



かわいいいちびっこ柔道選手。2016年は、この子たちも主役になれる年

舞台は再び市民体育館。全国の選手や観客がこの場所を目指してきます



国体 柔道競技は 久慈が会場

2016

あの熱狂が再び久慈に……。2016年(平成28年)に本県で開催予定の第71回国民体育大会の柔道競技開催地に本市が内定しました。前回、本県で国体が開催されたのは1970年(昭和45年)。46年の時をへて、全国から大勢の選手や観客がこの久慈にやってきます。全国に久慈を伝え、広める大きな機会。市民一丸となって盛り上げていきましょう。

国民体育大会とは
日本最大の国民スポーツの祭典。それが国民体育大会です。1946年(昭和21年)、京都を中心とした京阪神地域で第1回大会が開催されました。競技は都道府県対抗、会場は各都道府県持ち回り方式で毎年開催されます。本県が開場となるのは2016年の第71回大会で2回目。現在、県が中心となって準備委員会を組織し、競技会場の選定作業などを行っています。

国体が再び久慈に

2016年(平成28年)に本県で開催予定の第71回国民体育大会。3月30日、開催に向け準備を進めている国体県準備委員会(会長・達増拓也知事)の常任委員会が開かれ、夏季に実施する37競技のうち19競技の会場が内定しました。



昭和45年に開催された第25回国民体育大会柔道競技

柔道競技の会場は本市の市民体育館に内定。空気投げで知られる三船久蔵十段生誕の地であり、世界柔道選手権65kg以下級優勝者の柏崎克彦八段(現・国際武道大学教授)を輩出してきた久慈。7年後、この「柔道のまち」を目指し、全国から大勢の選手や観客がやってきます。

でも本市は柔道競技の会場になりました。全国から集結した強豪同士の熱戦に、関係者だけでなく、市全体が熱狂。市民総出で選手らを歓迎し、試合を一目見ようと会場の市民体育館に足を運びました。まさに、国体一色となったまち。その日本最大のスポーツの祭典が、46年の時をへて再び久慈に帰ってくるのです。

柔道の普及に向けた取り組み。これが内定の決め手となった一つでした。これまで市は、市柔道協会や関係団体と連携し、三船十段杯久慈国際親善柔道大会や、各種県大会、東北大会など多くの大会を開催。柔道を通して青少年の健全育成を目指す柔道錬成会など、子どもたちの育成にも力を注いできました。

これらの取り組みに加え、会場となる市民体育館の規模や宿泊施設数などの条件もクリア。岩手県柔道連盟(千葉翠会長)の協力も得られ、本市が国体の会場地に選ばれました。市教育委員会は昨年度から、競技者以外の方にも柔道に親しんでもらおうと、豊の上で運動を楽しむスポーツ教室を実施。岩手大学と連携して畳や柔道に関連づけた運動プログラムの研究も行っています。市民の皆さんに柔道をもっと身近に感じてもらうため、新たな取り組みも始めています。

今回の内定は見送られましたが、市はさらに、近隣6町村との連携による軟式野球競技の開催に向けた取り組みも進めています。国体でこのまちを盛り上げるため、みんなで大会を成功させ、感動を分かち合ひましょう。昭和45年のこのまちがそうだったように。

認められた久慈の柔道

柔道の普及に向けた取り組み。これが内定の決め手となった一つでした。これまで市は、市柔道協会や関係団体と連携し、三船十段杯久慈国際親善柔道大会や、各種県大会、東北大会など多くの大会を開催。柔道を通して青少年の健全育成を目指す柔道錬成会など、子どもたちの育成にも力を注いできました。



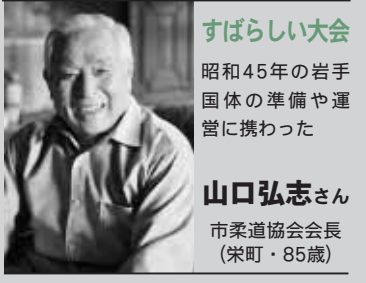
おやこあそび道場

親子で触れ合いながらゲームや運動をする教室です。柔らかい畳の上なので転んでも痛くありません。子どもも思い切り運動を楽しめます。申し込みは市民体育館(☎61-3353)へ。▽期日=◇5/23(土)◇6/13(土)◇7/11(土)▽時間=10:15~11:30▽場所=三船十段記念館道場、市民の森▽対象・定員=おおむね3歳~小学低学年までの児童と保護者・20組

みんなで感動と成功を

国体。それはスポーツの祭典というだけではありません。全国の人々に、まちをアピールする機会でもありません。久慈の魅力を伝え、広めるには、市民みんなで力を合

わせる必要があります。選手や役員、観客だけでなく、その「国民」体育大会。大会を成功させるためには皆さんの力が必要です。



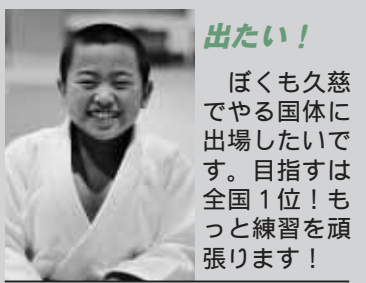
すばらしい大会
昭和45年の岩手国体の準備や運営に携わった

山口弘志さん
市柔道協会会長(栄町・85歳)

国体はとにかく準備が大変でした。会場となった旧市民体育館の建設なども含め、準備は10年がかり。柔道や体育関係者だけでなく、商工関係者や一般の方など総動員で取り組みました。当時は今のように旅館やホテルも多くありません。一軒一軒民家を回って、選手や役員を泊めてくれるようお願いなどもしました。

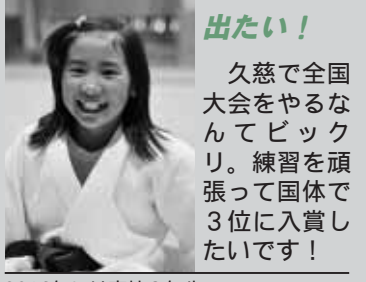
大会の盛り上がりはすごかったです。市全体から歓迎され、選手や役員は皆とても喜んでいました。本当にすばらしい大会。みんなが丸となって協力したからこそ大会が成功したのだと思います。

国体は、柔道など競技だけでなく地方を高めるための大会です。決まったからにはみんなで協力して良い大会を作り上げてほしいですね。



出たい!
ぼくも久慈でやる国体に出場したいです。目指すは全国1位!もって練習を頑張ります!

2016年には高校3年生
久松泰斗くん(小久慈小5年)



出たい!
久慈で全国大会をやるなんてビックリ。練習を頑張って国体で3位に入賞したいです!

2016年には高校3年生
三浦七海ちゃん(久慈小5年)

振り返る1970年

楽しみな2016年